

問2-1. 問2で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。

(問2. あなたの地区では、お互いに助け合い、支え合いながら生活していると思いますか。)

性別	年代	記述
女性	20歳代	そこまで近隣の人たちと強いつながりを感じていないから。その距離感がいい場合もあるが。
女性	40歳代	町民運動会、ソフトボール、バレーボールの各大会には人がいるにもかかわらず、参加しようともせず、他人任まかせ、ギリギリの状態での出場する意味が分からない。
男性	60歳代	自分さえよければという人が多いように思う
女性	20歳代	具体的に、助け合ったり支え合ったりしてることがない。
女性	60歳代	人間関係が悪い
女性	60歳代	支えあうにしても、役場の体制がなってないし、悪い。例えば、除雪、冬期間、一日一回の除雪では、夕方の降雪に対応できていない。また、国道・県道・町道への支線接続口に雪が大量に寄せられ捨てられている。このことを役場で調整していない。
男性	15歳～19歳	口うるさい年寄りがいる
男性	30歳代	声の掛け合いや思いやりがない
女性	40歳代	特定の人達が自分中心の考え、協力的ではない
男性	50歳代	人がわるくなって行くから
男性	50歳代	あいさつ程度はするが、名前、どこの部屋番号の住民なのかすら知らないのだから当然、助け合い、支え合い等はない
男性	60歳代	各個人の生活を守ることに精いっぱいのような気がする。以前は暮らしに困っていても心に余裕があり、人の心配までしてくれたように思います。

性別	年代	記述
男性	30歳代	過疎化がすごい
男性	40歳代	将来を見据えた物の考えを持ってない老人が多く居るから
女性	60歳代	自分中心な人が多い
不明	不明	若い方々が高冷者へ思いやりが足りない
男性	60歳代	若い人とかかわる時があまりない
男性	60歳代	皆、自分さえ良ければいいと思う人が多い、ねたみ、ひがみが多い
男性	70歳以上	以前とは違い 自分さい良い人が多くなった気がします。お互い様がなくなりつつ有ります。
男性	70歳以上	高齢化が進んだり、少ない若い人達も他の町への通勤で、地区の現状を知る機会がほとんど無いなど、各人自分の事で精一杯で有るので現状です。
女性	40歳代	あちこちから集まった地区なので、情報を共有していない
男性	70歳以上	都市型生活に近くなり「結い」の必要性が少なくなってきた。車、インターネット社会となり単独でも、ある程度生活できる
男性	20歳代	周囲の意見を聞かない方がある。
男性	60歳代	1、若者は特に自分の事しか考えていない。 1、お互いを思いやる事が以前よりできていない→親のしつけにも問題が？
男性	50歳代	理由といわれても 朝からいる人 ひるまいない人の考えと思う
男性	60歳代	プライバシーの問題があり、声掛けがむずかしい人もいる ただし、気付かいで こちらから向かう気持ちがあればみんな笑顔になれると思います。
女性	60歳代	勝手な人が多い

性別	年代	記述
女性	60歳代	お互い助け合うのではなく、悪口を言ったり うわさ話が好きな人が多すぎる。相手のことを思う精神が根づいてないと思う。ボランティアの心もあまりない人が多い。
女性	50歳代	数年前から感じるようになりました。世の中が変化しているのだと思います。金のかかる時代だと思われま
男性	50歳代	親しい個人間等（親せき・友人）ではあるが←助け、支え合い 地区としては、同地区の人と言うだけで全く関係のない人、かかわりたく無い人もいる為
女性	70歳以上	自分だけが良ければよく助け合いや支えあいの精神は薄れていると思う。
女性	60歳代	言葉と心の中は違う
男性	30歳代	部落は人の不幸を喜ぶ
女性	15歳～19歳	みんな自分のことばかり（自己中）
女性	40歳代	干渉はするが陰口ばかり聞く。集まるといつも誰かしらの陰口を言っている所以本心がわからなくて怖い。助け合っている部分もあると思う。